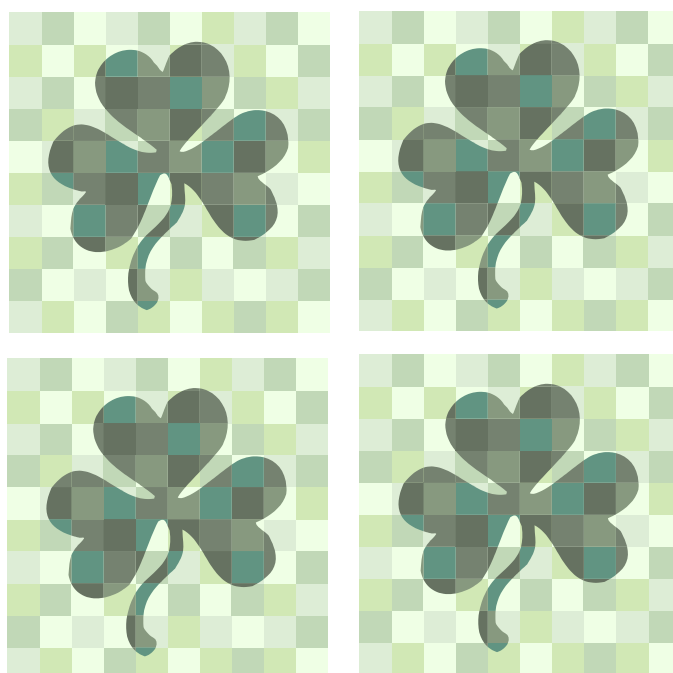








2011.2

Network newsletter No.14



-  新しい一歩への道しるべ
「まちを育む 市民と行政の協働ルールブック（実務編）」活用に向けて …… p2
-  報告：NPO講座「こうすれば伝わる！シンプルプレゼンのススメ」 …… p3
：セミナー 「活動する仲間を集めるコツ」 & NPO相談会 …… p3
-  会員紹介：三警電子株式会社 …… p4
：米野・スパローズSC …… p4
-  イベントのご案内 …… p5
-  ネットワークHOTニュース …… p6
-  インフォメーション …… p6

つまり協働あるってこういうことなんです



新しい一歩への道しるべ 「まちを育む市民と行政の 協働ルールブック（実務編）」活用に向けて

2月24日（木）市役所南庁舎5階大会議室において、「まちを育む 市民と行政の協働ルールブック（元気なまち育て・実務編）」の完成報告を兼ねた協働啓発セミナーを開催しました（こまき市民活動ネットワーク主催）。

同ルールブックは、平成19年度に市民と行政職員が議論を重ねて策定した「まちを育む 市民と行政の協働ルールブック（はじめの一歩・理念編）」に続くもので、協働を進める際に、具体的に何をどのような手順で行うかの実務ルールを取り決めたものです。

策定委員会（理念編）で委員長を務めた秦野利基氏から今回のセミナーの趣旨説明がなされたあと、実務編の委員長・肥田野良政氏の協働ルールブックの内容説明に移り、協働のあり方が実例を交えながら、分かりやすく語られました。



協働ルールブックの説明をする、肥田野策定委員長。

続いて、NPO法人ボランタリーネイバーズ理事の三島知斗世氏から「協働で元気なまちを育てていくために」と題した先進事例の紹介がありました。冒頭で「小牧のように、市民と行政職員が最初から話し合いを重ね、共通認識の下でルールブックを作り上げるケースは珍しく、素晴らしい



協働ルールブックを手に、熱心に説明を聞く参加のみなさん。

ことだ」と、ルールブックの完成をまず、ねぎらい、これを機に協働に前向きに取り組んでほしいと呼びかけがありました。

後半は、コーディネーターに武長脩行氏（椋山女学園大学教授）、パネラーに協働ルールブック策定委員会メンバーを迎え、パネルディスカッションを行いました。パネラーの安藤誠氏（企画部人事課）は「この協働ルールブックを作成することが、まさに協働でした」とルールブック完成までの苦労を振り返り、近藤静枝氏（M-cPlace 代表）は「市には

ぜひとも市民団体が育っていける形での援助をお願いします」と提案するなどが、最後は武長氏が「まず一緒にやってみよう！という思いで協働に取り組んでいただきたい」と結びました。

この日は、犬山、春日井、知多市、大口町など県内7市3町からも協働担当職員やNPO 団体関係者らの参加があり、県内各市町に広がる協働への関心がうかがえました。



実務編作成の中での苦労や感想を話すパネラーのみなさん。

NPO講座～プレゼンテーション編～伝えるコツを身につけよう！ 「こうすれば伝わる！ シンプルプレゼンのススメ」

1月29日(土)市公民館4階視聴覚室でNPO講座「シンプルプレゼンのススメ」を開催しました。これは、助成金申請の審査などにおけるプレゼンの際に、どのように伝えるべきかを具体的に学ぶもので27名が受講しました。

前半は、こまき市民活動ネットワーク副代表理事の秦野利基氏による講義形式で、プレゼンの構成から発表にいたるまでの押さえるべきポイントと聞き手の心に届くプレゼンのあり方を分かりやすく解説しました。

後半は、名古屋で人材派遣のコンサルティング会社を営む松田智和氏の指導で実技に挑戦。それぞれがテーマを決め、与えられた画用紙3枚に伝えたい内容をまとめる作業に取り組み、2名の方が発表しました。



松田氏のアドバイスを受けながら、伝えたいテーマをまとめる作業に取り組む受講のみなさん。



実技の場面で、口腔ケアの大切さを伝えた、「こまき歯っ磨るティースターズ」代表の三宅やよいさん(左)と、DV被害者の支援を訴える太田垣隆さんが、模擬プレゼンに臨みました。

参加者からは「プレゼンで何を伝えなければいけないのかがよく分かった」「準備をしっかりと臨むことの大切さを学んだ」「想いをシンプルにまとめて伝える難しさを再認識した」などの感想が寄せられました。

セミナー「活動する仲間を集めるコツ」&NPO相談会

2月11日(祝)、市公民館学習室4の4においてセミナー「活動する仲間を集めるコツ」を開催し、20名が参加しました。講師は東海3県をエリアに月刊ボランティア情報誌「ボラみみ」(発行部数1万部)を発行するNPO法人ボラみみより情報局(名古屋市中村区)代表の織田元樹氏。現在同誌は企画・編集から配布までの作業全てを、約300名のボランティアスタッフが支えているそうで、セミナーでは、そうした経験をもとに、仲間を集める手法、やりがいをもって活動に参加してもらうための取り組みなど、仲間を受け入れる側に立っての仕組みづくりなどを手解きしました。

なお、午前中には市民活動センターの会議スペースで、織田氏をアドバイザーに迎え「NPO相談会」も開催しました。これは、市民活動を進める中で生じるさまざまな悩みや問題の解決にアドバイスを受けるもので、法人格取得や会の運営方法など、2団体の個別相談を受けました。



「組織は人間関係」と織田氏。よりよい関係を築くために日頃から心がけるポイントも学びました。



三警電子株式会社

ヒカリ・デジタル電話設備、太陽光発電設備、防犯設備、LAN工事の設計、販売施工、保守管理を業としている三警電子株式会社です。所在地は小牧警察署前の155線西之島交差点東50M（手前）北側、愛知銀行西支店の東です。

ところで、太陽光発電設備は、太陽の照る場所なら設置場所に制限はなく、世界中どこでも誰でも設置できる大衆性のある設備であり、偉大なる太陽エネルギーの恵みを「ただ」でいただける設備です。エコ生活が何かと話題となる今日、この地球にやさしい無尽蔵のエネルギーを利用しない法はないと思います。当社も、太陽光発電設備を設置していますから、何時でも現物を見ながらご説明できますので、お気軽にご相談ください。ようお待ち申し上げます。

一方、テレビのスイッチを入れると、新聞を開くと、毎日必ずと言ってよいほど殺傷事件が報じられている物騒な今日の日本です。日本は安全だと言われてはいますが、それは外国の犯罪が多すぎるので、比較して日本は安全と言っているに過ぎず、現実には殺傷を伴う凶悪犯罪が多発しています。自分の身は自分で守るより方法がありません。防犯カメラの映像分析によって、凶悪犯罪犯人が次々と逮捕されています。ぜひカメラ付防犯設備の導入をお勧めいたします。

三警電子株式会社 代表取締役 千味忠利



夜間でも赤外線監視カメラだと、こんなにクッキリ映ります。



米野・スパローズSC

私たちのクラブは、米野小学校区スポーツ振興会の中で活動している総合型地域スポーツクラブです。米野小学校の体育館をお借りして、月3回2時間程度開催しております。種目は、卓球・ディスクドッチ・大縄跳び・キンボール等、ニュースポーツが中心です。また、カローリングも楽しんでいます。中学生は卓球に一生懸命。小学生は好きなスポーツやゲームを楽しんでいます。運動の苦手な子どもも自然に輪の中に入ってきて楽しくプレーし、1年もすれば技術も上達してきます。最後の30分間は全員でディスクドッチをして終わります。さまざまな年齢の子どもたちが一緒に活動することで、自然に優しさ、いたわりの心が身に付いていきます。

年間行事としては、校区住民を対象とした交流大会を開催。この大会は幼児から高齢者まで無料で参加できます。

10月の市民まつりでは小牧山の「げんき村」でスポーツ輪投げやシャボン玉体験のブースを出店しています。パフォーマンスにも参加し、キンボールを転がして遊んでもらっています。

スポーツの苦手な子どもたちに体を動かす楽しさを広めていくことが、私たちのスポーツクラブの使命だと考えております。

米野・スパローズSC クラブ部長 岩瀬勝美



小学生と中学生が仲良く参加する、米野・スパローズSCのメンバー。

イベントのご案内



おとなと子どもの生涯学習のつどい こまなびフェスティバル2011

市民活動団体とジュニアセミナー受講生による展示・体験・舞台発表など、楽しい催しが盛りだくさんのイベントです！

- 日時 平成23年3月19日(土) 午後1時～4時(展示のみ)
3月20日(日) 午前9時45分～午後4時(舞台・展示・体験)
- 場所 小牧市市民会館・市公民館
- 問合せ 小まなびフェスティバル実行委員会 事務局 生涯学習課 ☎76-1166

市民活動センター次世代育成事業「次世代育成モデル事業 成果発表会」

「次世代育成モデル事業」として地域の環境美化活動に取り組む市民グループと子ども会が、その成果を体験発表します。子どもたちは活動の中で、何を感じ、どんなことを考えたのでしょうか。子どもたちの生(ナマ)の声に耳を傾けてみましょう！

- 日程 平成23年3月5日(土) 午後1時30分～3時30分
- 会場 中部公民館4階大会議室
- 参加費 無料
- 定員 80名
- 申込・問合せ 小牧市市民活動センター
☎74-4011 FAX74-4070

わたしたちの体験発表を聞きにきてね！



こどもの未来のために 今 おとなができること 講演&グループワーク「思いやり社会再生に向けて」

「無関心」には過ごせない次世代の幸せのために、私たちおとなの努めについて考えてみませんか。それがどんなに小さなことでも、みんなでやれば、やり続ければ、やがて大きな力となるでしょう。この講演会&グループワークでは、私たちの身の回りで起きていることを見つめ直し、次世代の幸せのために「何ができるか」を一緒に考えます。

- 基調講演 テーマ「思いやり社会再生に向けて」
講師 稲場圭信氏(大阪大学大学院准教授)
著書:「思いやり格差が日本をダメにする」(NHK出版)
NPO、大学、幼稚園、小学校、寺院、宗教団体などで、思いやり・支えあう社会の構築に関する講演多数。
- 日程 平成23年3月13日(日) 午後1時30分～4時30分
- 会場 小牧商工会議所4階大会議室
- 参加費 無料
- 定員 60名
- 申込・問合せ こまき市民活動ネットワーク
☎74-4011 FAX74-4070

ネットワーク **HOT** ニュース ●●●●●●●●

市民活動団体ガイドブック 2010「660のチカラ」完成！

市内で活動する660の市民活動団体の情報を網羅したガイドブック「NPO！660のチカラ」が完成しました（市発行）。こまき市民活動ネットワークのガイドブック作成委員会が団体をリサーチし、こまきe-コミュニティーネットワークの協力を得て編集しました。近く、冊子は各掲載団体に送付のほか、市民活動センター、東部・味噌・北里の各市民センター、西部・南部の各コミュニティセンター、都市センターおよび市生活交流課で閲覧が可能になります。



今年も大盛況！北海道八雲町のホタテ販売会！

2月20日（日）、小牧駅前にぎわい広場と桃花台ピアレOUTLET-J前広場で、北海道八雲町落部漁協から直送のホタテ販売会を実施しました。小牧市と友好を結ぶ同町のPRと交流を目的に、こまき市民活動ネットワークが主催して3年目となる催しです。両会場には早朝から、ホタテを買い求める市民が長蛇の列を作り、にぎわい広場では会場の外にまで溢れる盛況ぶりで、約30分で完売。ピアレ会場も終了予定の12時を待つことなく完売しました。

当日は、こまき市民活動ネットワークの会員43名のスタッフのほか市職員も応援に加わり、早朝より準備や販売、また、会場整理に当たりました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました！



ホタテを買い求める市民でにぎわう駅前会場

information information

情報センターギャラリーに 作品を展示しませんか？

情報センター（小牧駅構内）では、趣味の作品や、活動紹介などを展示して下さる団体を広く募集しています。期間など詳しくは事務局までお問合せください。



3年間お世話になりました！

3月末で事務局を去ることになりました。思えば最初のころは市民活動のことが分からず、事務局スタッフとして務まるかどうか不安の連続でした。あれから3年。皆様に暖かく時に厳しくご指導いただき、あっという間に月日が流れていきました。この間、市民活動を通して貴重な経験を積む中で多くのことを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。事務局スタッフ 土谷美裕紀



3年間事務局を支えてくれた「ツッチー」こと土谷さん。目標に向かって歩み始めた彼女にエールを送るとともに、心からご苦労さまでしたと伝えたいです。しかし、ことあるごとに彼女の若い記憶力(!)に頼ってきた私たち事務局スタッフ。彼女が去ったあとも思わず「ねえ、ツッチー」と呼んで苦笑いしてしまう、そんな場面がしばらく続きそうです。(ひ)

ネットワークニュースレター 第14号

◎発行・編集：特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク ◎発行日：2011年2月25日

〒485-0041 小牧市小牧二丁目107番地 小牧市公民館4階

TEL：(0568) 74-4011 FAX：(0568) 74-4070

e-mail:info@npo-komaki.net HP:http://www.npo-komaki.net/